



事業番号	05 12 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
		実施期間	S22 ～	E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康長寿日本一を維持				
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援				
	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】	
	1 医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、医薬品等の製造販売業者・製造業者・販売業者の資格者の確保及び資質向上を図り、薬局・病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを目指す。 2 長野県内で使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を、県内の献血者血液により確保し、血液の安定供給を図る。 3 薬物乱用防止に関する意識の高揚を図り、覚醒剤、大麻等の薬物乱用者の減少を目指す。 4 感染症の流行や災害時等緊急の事態に必要なとされる医薬品等の備蓄・供給体制を整備することにより、県民の健康被害の拡大や保健衛生上の危害を防止する。	
令和2年度 点検結果 ・ 現状分析	【これまでの取組】	
	1 薬事関係許認可及び立入検査 2 若年層への献血啓発事業 3 若い世代への薬物乱用防止意識啓発事業 4 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄、医薬品等の備蓄・供給体制の整備	
	課 題	今後の方向性
	1 継続的に、医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保する必要がある。 2 血液は長期に保存することができず、また人工的に製造することもできないため、常に献血により確保し続けていく必要がある。	医薬品等の製造から販売までの各段階での許可業者の資質向上及び病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを推進する。 献血者数は全体的に減少傾向であるので、将来の献血者数の確保のためにも、10～30代の若年層への啓発を重点的に行う。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 薬剤師復職・就業支援事業 【薬学生、U・Iターン希望者、県外在住未就業薬剤師をターゲットにした就職・復職説明会の開催】 東京都・大宮市・名古屋市・長野市において復職・就職説明会を実施 【復職に向けた座学研修（2回）・実習（病院・薬局）の開催】 病院・薬局等での勤務経験がある未就業薬剤師(特に女性薬剤師)の復職に必要な知識・技能習得のための研修を実施 【未就業・復職もない薬剤師向けの受講しやすい研修機会の確保】 自宅で都合の良い時間に学習ができるよう、座学研修講義をWEB配信（e-ラーニングシステム）とし、受講希望者の利便性を図るとともに、復職に必要な最新の情報を提供	
	✓ 若年層への献血啓発事業 中学生・高校生からの献血推進ポスター募集 プロスポーツチームとのタイアップによる観客への啓発 等	
✓ 若い世代への薬物乱用防止意識啓発事業 高校生が薬物依存経験者の体験談を直接聞き、更に共に話し合う機会を設けることにより、若い世代に薬物乱用防止意識の高揚を図る（県内高校20校）	プロスポーツチームとのタイアップ	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	薬事監視実施率(%)	32.9	40.5	↑	30.0	↓	0	0	要求 68,815	予算案 -
2	献血目標達成率(%)	99.4	101.7	↑	100.0	↓	171,238	211,660	要求 68,815	予算案 -
3							0	720,436	要求 68,815	予算案 -
4							171,238	932,096	要求 40,459	予算案 -
5							136,978	181,895	要求 -	予算案 -
							160,915			
							15.5	15.6		
成果指標設定理由 1 薬局、医薬品等製造業などの薬事関係許認可施設に対する立入検査実施率を成果指標に設定 ※目標値：約3年に1回施設の立入検査を実施 2 長野県献血推進計画において定める献血者数に対する達成率を成果指標に設定										